

新ごみ処理施設の検討状況について（報告）

現明石クリーンセンターは、平成 11 年に供用開始し、建て替えに要する期間を考慮しますと、一般的な建替時期とされる築後 20 年を大幅に超える稼働期間となることに加えて、経年に伴う老朽化が進んでいることから、これ以上の延命化は、維持費用や故障リスクの増大が予想されるため、平成 30 年度から本格的に新ごみ処理施設の建設に向けて検討を進めてまいりました。

建設場所については、広大な敷地が必要なことに加えて、最終処分場が近い旧大久保清掃工場跡地（クリーンセンター敷地内）が最善であることから、旧大久保清掃工場を解体し、その跡地に建設することを決定しております。（明石クリーンセンター付近見取り図参照）

1. これまでの取組

平成 30 年度から、新ごみ処理施設稼働による周辺環境への影響を予測する生活環境影響調査を開始し、四季を通じた 1 年間にわたる「基礎データ」の収集が完了いたしました。

令和元年度からは、新ごみ処理施設整備基本計画の策定に向け、技術的専門性の高い内容について、技術支援会議（大学教授をはじめとする 4 名で構成）を設立し、これまで 3 回の会議を開催しご助言を賜ってまいりました。

その結果、可燃ごみの処理方式については、あらゆる方式の中から熱処理方式に限定し、また、破碎選別施設のあり方については、事業の継続性・災害時等の対応・用地確保・経済性等の観点から、市が主体となり施設整備を行う方針として、メーカーアンケートを実施したところです。

2. 環境審議会委員のみなさまへのお願い

新ごみ処理施設の建設に向けた事業の進捗状況については、環境審議会へ適宜ご報告させていただくとともに、市民が親しみやすいごみ処理施設に向けた「多くの市民に利用される多機能型施設」については、委員のみなさまのご意見やお知恵を拝借してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

